

Free! free sex unofficial fanbook

R18 凜遙/真遙/爺真/真渚/凜渚/渚怜
etc

泳がちなし



ここは小さい町なので町の人みんなにいやらしいことをしてゐるのがバレてる気がしてどうしようも
けれどもきつとばれていてもお婆あさんはやさしいしこねこはかわいい 変わらない毎日だと思ふのです。

始めはただの水遊びだったように思う



自分のホースから黄色い水や白い水が出るのがおもしろかった



変な味



体の中でこんなので作ってるんだ

真琴や渚もこの遊びに夢中だった



おなかの中にいっぱい水を入れる遊びは凧にやめてくれと懇願されて禁止になった



それ気持ち悪い

真琴も渚もかわいいと云ってくれてたから少しショックだった



凧

泣きそうな顔してる



おまえのせいだよ遙

おまえのせいだ





クラブが
休みの日は
4人でいっぱい
仲良く遊んだい

両親の帰りは
いつも遅い



潮を
噴いてみたい

は？



人間でも
潮を噴ける
らしい

それは
クジラみたいに
ってこと？

ハルちゃん
クジラっていうより
イルカじゃん

いやクジラと
イルカは大きさに
差があるだけで

生物的には
同じらしいよ



僕出来るよ
遠くまで
飛ばせるよ

はい
おしっこじゃ
ないんだって
はい

潮…

けど人間が
どうやって
潮を噴くんだろう



潮
噴かせてやるよ

一週間後
泣きそうな顔をして
凧がそうだった

オレは
凧とすするのが
一番好きだった

元々
出来る人間と
出来ない人間が
いるらしいから

失敗しても
オレのせいじゃないと
凛は言いたかったんだと
思う

けど何故かオレは
出来る側だという
確信があった

ドキ

ん

一度イッて
こっからだからな

うしろ締めるん
じゃなくて
緩ませて

時々
力んで

やった

これが
潮かあ

おしっこ
じゃない！

精液でも
ないね
汗とちよつと
似てるかな

ほんとだ
ハルちゃん
クジラさん
みたいだった

今まで体から出した液体の中で
一番透明でサラサラしてて
匂いなくて水に似てて
嬉しかった

誇らしげに笑う
凛が可愛くって
また勃起した

今度は凛に
入れてもらって
射精しないで
ゆるゆるとイッた

オーストラリアは
何処にあるんだろう



指で距離を測って
何度も辿ってみたが
そんなの何処だって
ただの知らない場所
に
変わらないのだ

ハルに変な遊びを
教えてしまったと思う

ハルはともかく
渚には絶対
早かった

娯楽の少ない
この町だつて
子供ならちゃんと
他の遊び方を
知っていたのに

おじいさんは

おじいさんなのに
すごく遅しいね

かつこい

そうだね

真琴は骨格が
しっかりしてるから
きつと大きくなるよ

ぼくもね
おじいさんみたいに
遅しくなりたいな

おしりの使い方
教えてくれたのは
おじいさんだつた

それより
ほら金魚みたいに
ユラユラ腰を
ふつてご覧

あそこ
お本が
あるだろ

だから本当は
あまり人のことは
言えないのだけど

マコちゃん
ぼくも

次は
ぼくのこ
と抱っ
こして

おじいさんの
言葉通りおれは
大きくなつて

体と同じく
大きなちんこは
みんなのお気に召した
ようだった

すり

おまえ
怖いんだよ

ただ凍と寝ること
だけはないと思う

今でも体が
震えるんだ

求められると
嬉しい

マコちゃん
マコちゃん

包まれてると
安心する

もっと
ギュウツと
して

真琴
気持ちいいか？

うん
とっても

抱っこするみたいに
膝の上で抱えて
揺すつてあげると
みんなとても気持ち
よさそうな顔をする

凛がいなくなっても
遙はオレのものじゃない

怜

ビックリしたかも
しれないけど
そんなに怯えないで

怖くないよ

こわくない

こわくないから

怜ちゃん

驚かせちゃって
ごめんね

怜ちゃんも
一緒に遊ぼう

大丈夫です

だっ

真琴先輩が
そういうなら…

怜は凛と違って
オレを欲しがった

怜は凛と違って
とても可愛かった



怖いことなんて
あんまりない



けど
仲間はずれは
嫌いだった



泣くな
男だろう



自分でやるって
決めたんだから
頑張れ渚

ひうつ

うん

ぼく
泣かない



水泳とあまり
かわりなかった
ように思う

年上のみんなは
いつもちよつと辛辣で
仲間になるには
少しの勇気と
頑張りが必要なのだ

気持ち
よかったか？

いたかった
かなー

渚っ

オマエが
どうしてもって
いうから
折角人が

だから
渚にはまだ
ちよつと
早かったんだよ



早くマコちゃんのも
入れられるように
になりたいなあ

コラコラ



男は
大きさはじやない

ハルッ

どういう
意味だよ
ソレ



ハルちゃん?

渚

イケなかったん
だろう?



うん

気持ちいい

ありがとう
ハルちゃん



やめろってば
寄越すなって

コ
コ
コ

落ち込むな

別にオマエは
下手じやない



オマエ
飲むの
好きだよな
信じられね





丘に上がってのたうつ
ハルちゃんも綺麗だった



すっかり
入るようにな
ったなあ

うん

だって
高校生だもん

ぼく
大きくなったでしょ
マコちゃん

そうだな
本当に
大きくなった

マコちゃんは
もつとおつきく
なつたね

体
だけだよ



あ

やっぱり

おつきく



抱きしめて
あげるね



マコちゃんは
寂しがりや
だからね



そうなの？

そうだよ

…ふん

一方僕はと
いますと



もう一人の
寂しがりやである
凜ちゃんが
いなくなつて

マコちゃんを
抱きしめながら
やつぱり寂しくなつたり
したのです

異常だと
思った

けれど論理的に言えば
異常というものは
常に相対的なものだ

絶対のものは
美しさだと
信じている

奔放に交わる
彼らに羨望を
覚えなかった
わけではない

わー
ドキドキするなー

僕誰かの
初めてもらうのって
初めてなんだ

怜ちゃん
一緒に
頑張ろうね

ちゃんと
手順を踏めば
そんな怖いことじゃ
ないから

セックスを
なめるな

こらハル
初心者
を
怯えさせない

大丈夫です

ちゃんと
論理は全て頭に

ヒッ





結局、綺麗じゃなくて
かわいいと言われたことに
不満を抱きつつ
訳も分からず射精した

バタフライが
泳げるようになった

初めて
セックスした



自分は今
何かなれたの
だろうか



隣で冷めた目で
興奮してる遙先輩が
とても印象的だった

ここにいない
誰かの気配がする



けれどそんなの
僕にとつては
どうでもいいことなのだ

泳がない

201308発行
201309二版

温戦人鳥/yoha
<http://pixiv.me/yoha>

印刷: トム出版様

感謝: 10ra様

手探りから
始めた遊びは
滅茶苦茶だった

6年生向けに行われた
保健体育の授業は
すごく勉強になった

みんなで
お小遣いを出し合って
コンドームと
ローションを買った

コンドームを
買いに行くのは
大体ハルの役だった

ちゃんと
子供にも
売ってくれるかな？

大丈夫

ありがとうございましたー

ちゃんと
売ってくれたね

するる

ちやん

ちやん

まこちゃん
はるちゃん
なぎさちゃん
りんちゃん

おかえり

ここは
小さな町だから

みんなに僕達が
いやらしいことを
しているのがバレてる気がして
いつも恥ずかしかった



凛
次は夏に
来いよ

何？

親に
石油使いすぎて
注意された

あー

僕の部屋に
小型の電気ストーブが
あるから持ってくるよ

つい
でに
ティッシュも

凛

冬は海で
泳げない

凛

海に
行こう

凛

海に

海で
泳ごう

凛

泳ぐだけ
でいいんだ

凛

夏の匂いが
する

おまえ
もだよ

ハル



つまづいた時は手を貸せるように

凛

行っちゃつたね

凛

暗黙の了解で、

安心しあえる距離で、

一緒にこの町でこれからもずっと

きっと帰って来ないよ

凛夏に

いないね

何気ない日常をかさねていけたら

海だよ

ハル

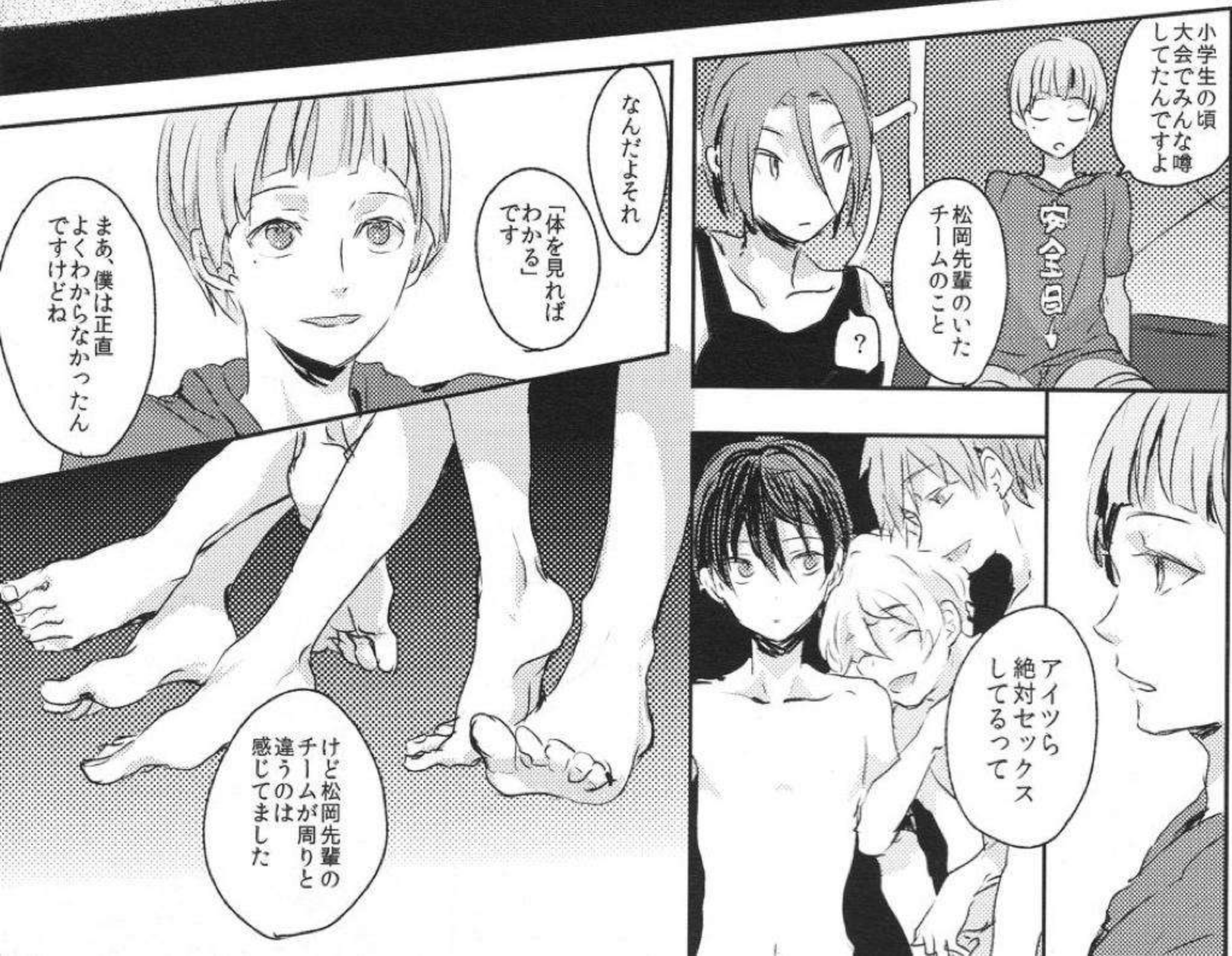
海だ

いつものペースで隣を歩いて

俺たちの足取りでゆっくり大人になろう

いつも感じてる温かいキズナ、ほっとする存在は、俺たちらしい…

凜が
帰ってきた





噂を聞いて僕の体も
そういう風に見えるかなと
思ってた試したんです

…使わね



僕です



生オナホ
使います？

は？

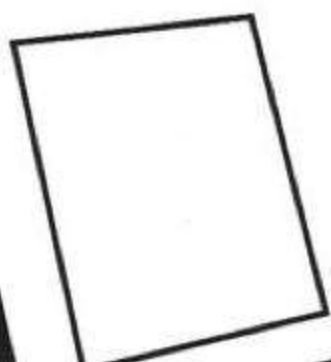


七瀬さんと
付き合ってた
いたんですか？

さあな



けど
昔の話だ



全部
昔の話だ



ああ

泣きそうだ
なあ

七瀬さん

sleeping around

泳がない

201308

温戦

yoha

凜×遙
真琴×遙
モブ×真琴
真琴×渚
凜×渚
渚×怜
(渚×遙)
(真琴×怜)

Free!乱交本